

令和8年度

馬路小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら学び続ける子どもを育成する。
- 互いに認め合い、話し合い、学びあえる授業を実践する。

校長

加藤 幸紀

学力向上推進員

松本 美穂

【各校の取組状況の把握について】

校内研修や教員からの報告等で、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○国語・算数の「知識・理解」の領域については一定の成果が見られ、単元テストでは概ねよい成績がとれる。 ●問題を読み取ったり、身につけた漢字などの知識を、事後の学習や課題に関連づけて活用したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で習得する基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・文章を正しく読み取ったり、身につけた知識・技能を生かしたりして学習に取り組むことができる。 ・作文や日記の中で既習の漢字を使って表現し、語彙の活用を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルやプリントを活用し、基礎的な漢字や計算スキルの定着を図る。さらに宿題や朝の活動で継続的に練習を行う。 ・ICTを効果的にを活用した反復学習の機会を設ける。 ・朝の活動で読書活動(新聞活用含む)に取り組み、読書カードでチェックするなど語彙力の向上につなげる。 			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの気づきや考えを、素直な気持ちで相手に伝えたり、聞いたりすることができる。 ●他者の考えを聞き、考えを深めたり、判断することに課題がある。 ●考えを、順序立てて説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や文章から必要な情報を取り出して見直し、正確に理解することができる。 ・友達の発表を聞いて質問したり、自分の考えを伝えたりすることができる。 ・友達の発表と自分の考えを比較し、考えながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントになる語句や文に線を引いたり、分かっている数字を囲んだりする習慣を身につけ、問題文の意図を正確に読み取る力をつける。 ・作文や日記、児童との会話を通して正しい表記方法や語句の言い換えなどを指導し、豊かな表現方法を身につけさせる。 ・タブレットを活用し、学びのまとめや考えを文章表現したり、発信したりして仲間と意見を交流する機会を設ける。 			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<ul style="list-style-type: none"> ○方法や手順が決まっている学習は、課題を最後までやり遂げようとする意欲が見られる。 ●周囲の助力を最初から期待してしまい、自ら課題を見つけ、解決しようとするに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らのめあてをもち、解決方法を考え、課題に粘り強く取り組むことができる。 ・家庭学習は各学年で目標としている時間(低学年10分・中学年30分・高学年60分)以上取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを提示して見直しをもたせたり、学習のまとめでは振り返りの時間を確保したりして学習をより深めさせる。 ・国語辞典やタブレットを活用し、常に課題追求ができるよう準備しておく。 			